

# 平成 18 年度 事業報告書

学校法人 甲南女子学園

## 1. 学校法人の概要

学校法人甲南女子学園(以下「本学園」という。)は、大正9年の甲南高等女学校創立以来、「まことの人間をつくる」を建学の精神とし、「清く 正しく 優しく 強く」を校訓として掲げると共に、「全人教育、個性尊重、自学創造」の教育方針を持ち、阪神間を代表する品格ある女子教育機関として、豊かな人間性を育みつつ、個性に応じた才能を伸ばす教育を実践してきました。

甲南女子大学大学院、甲南女子大学(文学部・人間科学部)、甲南女子高等学校、甲南女子中学校を有する本学園は、創立以来86年の伝統を礎にし、女子教育機関としての使命を果たし、現在の同窓生数は41,000名を超え、社会の各方面で活躍中です。甲南女子大学では、21世紀型の女性大学として、グローバルな視野で、柔軟な思考と行動力を身に付けた女性を育成し、男女共同参画社会での豊かな社会づくりに貢献できる次代を担う女性の輩出を目指しています。また、甲南女子高等学校・同中学校では、知・徳・体のバランスの取れた人格の育成を基盤として、少人数教育による一層の教育成果の実現を目指しています。

今後、甲南学園、甲南幼稚園・小学校、甲南病院、本学園の甲南4法人の絆を更に深め、4法人共通の創立の精神のもと、それぞれの特色、英知を更に結集、強化し、阪神間における甲南4法人の存在感をより一層高めていきたいと考えています。

### 1. 学生・生徒数等の推移(5月1日現在)

(単位:名)

区分	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
学生在籍者数				
大学院	78	72	79	66
文学部	2,268	1,969	1,770	1,611
人間科学部	1,154	1,498	1,471	1,433
計	3,500	3,539	3,320	3,110
生徒在籍者数				
高等学校	464	457	455	469
中学校	487	494	498	504
計	951	951	953	973
教職員数				
専任教職員	212	208	205	213
非常勤教職員	279	328	313	294
計	491	536	518	507

## ．事業の概要

### 1．事業の概況

本学園を取り巻く環境は、少子化の進行や新しい教育システムの構築を巡る学校間競争の激化等、ますます厳しさを増しています。国立大学の独立行政法人化や株式会社による大学の設置等、今後とも学校間の格差は拡大傾向となるものと予測されます。かかる状況下で、本学園は、国際化・情報化・高齢化社会の中における女子教育機関の使命を果たすべく、86年にわたる甲南女子教育の伝統と実績を踏まえ、中学校・高等学校・大学一貫の女子教育の常に新しいあり方を追究しています。

管理・運営面においては、大学設置基準の一部改正に伴う大学教員組織の整備、平成19年4月の看護リハビリテーション学部設置に伴う諸制度・規程の改定を行いました。また、教育環境の整備及び教育研究の推進に対する支援を目的とする「甲南女子学園教育振興基金」制度を設け、本学園の卒業生・教職員・保証人・役員等へ支援・協力の依頼を継続しています。

### 2．大 学

(1)教育体制 21世紀に求められる新学科を企画し、平成18年4月に文学部「メディア表現学科」、人間科学部「総合子ども学科」を開設しました。また、長い伝統と甲南学園、甲南病院の創設者の平生鈞三郎先生の高邁な理念に基づき、甲南4法人のひとつである甲南病院との連携をもとに「看護リハビリテーション学部(看護学科、理学療法学科)」の設置認可を平成18年11月末に文部科学省から得ました。更に、人間科学部総合子ども学科では、保育士、幼稚園教諭1種免許に加え、平成19年3月末に小学校1種免許課程の認定を文部科学省から得ました。

大学院(専攻)・学部(学科) 一覧 (平成18年度)

大学院	人文科学総合研究科 (博士前期・後期課程) 言語・文学専攻 心理・教育学専攻 社会・文化環境学専攻
学 部	文 学 部 日本語日本文学科 英語英米文学科 多文化共生学科 メディア表現学科(新設) フランス語フランス文学科(募集停止)
	人間科学部 心理学科 総合子ども学科(新設) 人間教育学科(募集停止) 行動社会学科 人間環境学科

- (2)教育活動 平成 18 年度からカリキュラムの改定を行い、学生の履修及び資格取得の多様化を図っています。特に基礎科目で導入教育を重視し、新入生が大学や大学生活を多様な面から体験し、大学をよりよく知る「大学探検」を開設しました。この科目の中でマナー講座を必修化すると共に、人間関係や身近な現象を通して、自己と他者について考える「自分の探求」、将来の進路選択をサポートする「キャリアデザイン」、就職に役立つ日本語のスキルアップを目指す「キャリアのための日本語」を開設しています。
- (3)外国語教育 「言語センター」を中心に活動範囲を広げ、「英語」はすべての学生があらゆるコミュニケーションに対応できるよう、総合的にスキルアップするようカリキュラム編成をしました。更に英語検定試験、海外留学、海外旅行、映画、インターネット、通訳・翻訳などの目的別科目を配置しています。「初習外国語」は、中国語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語を設置し、各言語が用いられてきた地域の生活や歴史を手がかりに、わが国や英語圏とは異なる文化について学ぶことを始めました。
- (4)国際交流 語学力と国際感覚を身につけるため、各種留学、語学研修プログラム等を実施しました。
- 認定留学 ミルズカレッジ(米) 西イリノイ大学(米) ヨーク大学(英) リジャイナ大学(加) ナント大学(仏)  
淑明女子大学(韓) 天津外国語学院(中)  
クライストチャーチ教育大学(ニュージーランド)
- 語学研修 ヨーク大学(英) シドニー大学(豪) パリ CAFJ(仏)  
リジャイナ大学(加) 淑明女子大学(韓)
- 交換留学 淑明女子大学(韓)
- (5)情報教育 情報リテラシーの能力を備えた学生の育成に努めると共に、普通教室のマルチメディア化、コンピュータ支援 CALL 教室の設置等教育環境の整備も同時に進めています。
- (6)学生生活 品格ある女子大学の再生を目指し、マナー教育(社会化教育プログラム)を「社会貢献活動」の課題と位置づけ、様々な活動を展開しました。岡本地区一斉クリーン作戦への参加、学生プロジェクト基金 21、障害学生支援活動などを通じて、責任感・公共徳・自主性などを育てています。また、優秀学生の表彰も行っています(大学 優秀学生賞、同窓会 清友会賞、教育後援会 学習奨励賞)。9 月には、教育後援会とも連携し、大学と家庭を結ぶための教育懇談会を開催しました。
- (7)就職活動 就職や職業に対する意識を高め、進路の多様化にも応えていくため、就職ガイダンス以外にも個別面談・模擬試験やインターンシップ活用を積極的に行い、学生の就職活動をきめ細かくバックアップしています。また、学生のキャリアアップのための「資格サポートセンター」でも、各種資格・就職試験対策をサポートしました。
- (8)課外活動 軟式庭球部 関西学生ソフトテニスシングルス大会ベスト 4

- 西日本大学対抗選手権大会ダブルスベスト 8  
 弓道部 兵庫県民体育大会 大学女子の部 第 3 位入賞  
 第 54 回全日本学生弓道選手権大会個人戦(予選) 第 3 位入賞  
 洋弓部 第 41 回関西学生アーチェリーリーグ戦 1 部リーグ  
 A ブロック優勝  
 2006 年ワールドカップ中国・上海大会出場  
 第 15 回アジア競技大会(カタール・ドーハ)出場

- (9)大学開放 4 月に第 41 回シェイクスピア祭を芦屋市民会館にて開催。また年数回、子ども学講演会を開催しました。9 月には県下大学連携ひょうご講座に参加すると共に、本学主催の公開講座を 10 月に開催しました。さらに 10 月の大学祭時には同窓生を招いて、第 25 回ホームカミングデーを開催しました。
- (10)学生募集 文学部、人間科学部と共に平成 19 年 4 月開設の看護リハビリテーション学部(看護学科・理学療法学科)の学生募集のため、入試説明会、オープンキャンパスの開催、高校訪問活動を推進しました。
- (11)表彰 学生による「後輩に勧めたい授業科目・教員について」の投票の結果に基づいて選出された大学教員(1 名)に「ベスト・ティーチャー賞」を授与しました。
- (12)地域貢献 7 月に本学と神戸市東灘区との間で「地域連携協力に関する協定」を締結し、まちづくりの推進、教育・文化・健康・スポーツの振興及び発展、地域福祉の向上、人材の育成、地域の安定・安心の推進などについて、今後共より一層協力の上、地域の連携活動に貢献していくことを確認しました。

### 3 . 中学校・高等学校

- (1)教育活動 中学 1 年は、家庭科と連携した野菜栽培、2 年は平和学習(総合の時間)、3 年は多くの保育所の協力の下、1 学期期末考査後に保育所体験学習を実施しました。  
 高校 1 年は、3 月末に実施したスプリングセミナー(勉強合宿)で、自ら学ぶ姿勢を身につけ、2 年(希望者)は 8 月に行ったサマーセミナー(勉強合宿)で学習深度を深めました。また、2 年は 11 月に「探求(総合の時間)」と連動した研修中心の「水俣・沖縄修学旅行」を実施しました。  
 2 月に、1 年間の総合学習(探求・平和)・環境学習の成果を発表する「学習成果発表会」を、甲南大学、甲南中学校・同高校、甲南小学校の参加を得て実施しました。  
 なお、日本漢字能力検定で最優秀団体賞、実用英語技能検定で努力賞(団体)を受賞しました。
- (2)生徒指導 品位ある人格養成のため、服装等に期間目標を定め、教員全員で指導した結果、来校者の評価も上昇しており、学外で生徒にお世話になったとの感謝の声も届いています。しかし、登下校時の態度については、最寄駅(阪急芦屋川駅、JR 甲南山手駅)での指導を含め、引き続き指導を続けています。日常的な丁寧な取組みの

成果が、特別生徒指導(校長訓戒、指導部長訓戒など)件数の減少(68件 27件)として表れました。

- (3)環境学習 6月・10月に広野で農作業体験を、9月に住吉川環境学習を甲南大学、甲南中学校・高等学校、甲南小学校と合同で実施しました。2月には、甲南小学校で行われた「収穫祭」にも参加しました(いずれも希望者)。
- (4)行事 春の文化祭、秋の体育大会共、生徒による自主的な運営により行われており、文化祭の来校者数が4690名と盛況となりました。
- (5)土曜講座 5月から経済分野の著名人を講師に迎え、中学2年から高校2年の希望者が「暮らしと経済」特別授業(全5回、各約120分)を受講しました。また、高校2年・3年の希望者を対象に、通年で国語・数学・社会・理科・英語の補習授業を実施しました。
- (6)国際交流 夏期休暇中にカナダホームステイ(24名)、シドニーガールズハイスクール研修(14名)、イギリス・ベルランゲージ研修(28名)、英語サマーキャンプ(中1、2対象28名)を実施しました。また、ディートリッヒ・ボンヘッファー・ギムナジウム(独、派遣1名、受入2名)、イリノイ大学付属高校(米、派遣1名、受入1名)との1年間交換留学も実施しました。なお、11月にはエジモントハイスクールの生徒20名の短期受入をし、ホストファミリーに色々お世話になりました。
- (7)課外活動
- |                 |                       |                |
|-----------------|-----------------------|----------------|
| 写真部             | 全国高等学校総合文化祭 写真部門      | 文化連盟賞          |
| 放送部             | 兵庫県高等学校総合文化祭 放送文化部門   | 朗読 銅賞          |
|                 | NHK杯全国高等学校放送コンテスト     | 朗読 入賞          |
| コーラス部           | 兵庫県合唱コンクール 高校         | 金賞、中学 銀賞       |
| 硬式テニス部          | 兵庫県中学総合体育大会テニス競技大会    | 団体 第3位入賞       |
| アーチェリー部         | 兵庫県高等学校体育連盟春季アーチェリー大会 | 団体優勝           |
|                 |                       | 個人優勝・準優勝・第3位入賞 |
| 弓道部             | 兵庫県高等学校秋季弓道大会         | 団体近的           |
|                 |                       | 準優勝            |
| 水泳部(水球)         | 兵庫県高等学校総合体育大会         | 優勝             |
| 馬術              | 国民体育大会リハーサル大会ジュニア馬場   | 馬術 優勝          |
|                 | 兵庫県民大会馬術競技ジュニア馬場      | 馬術 優勝          |
|                 | 近畿馬術大会障害飛越競技          | 優勝             |
| けん玉             | 全日本クラス別けん玉選手権大会       | 優勝             |
| 国民体育大会(兵庫国体)の成績 | アーチェリー競技 個人           | 第4位入賞          |
|                 | 馬術競技 ジュニアライダー馬場馬術     |                |

自由 優勝、規定 優勝  
リレー競技(障害飛越) 準優勝

- (8)安全教育 社会の痛ましい事件の続発に対し、生徒の安全確保に万全を期するため、冬季期間中、下校時刻にスクールバスを特別運行しました。また、下校時刻(15時45分から17時45分)に、安全巡視員の巡回による不審者対策を講じました。なお、7月にはAEDを使用した心肺蘇生時の講習会を実施しました。

・ 財務の概要

1.平成18年度決算の状況

(1)資金収支計算書

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明示し、かつ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

【収入の部】

(単位:円)

科 目	決 算	予 算 - 決 算
学生生徒等納付金収入	4,104,118,100	9,997,900
手 数 料 収 入	90,701,550	5,463,450
寄 付 金 収 入	40,923,000	4,077,000
補 助 金 収 入	515,919,136	41,779,136
資 産 運 用 収 入	476,335,170	68,175,170
資 産 売 却 収 入	3,402,452,280	2,902,452,280
事 業 収 入	32,920,000	1,620,000
雑 収 入	169,507,418	7,241,418
前 受 金 収 入	932,590,000	83,685,000
そ の 他 の 収 入	1,356,127,436	25,258,282
資金収入調整勘定	888,818,871	172,248,871
計	10,232,775,219	2,938,424,065
前年度繰越支払資金	4,545,466,510	0
収入合計	14,778,241,729	2,938,424,065

資金収入合計(前年度繰越支払資金を除く)は、予算に比べ29億3842万円増加し102億3277万円となりました。主な増加は、補助金収入、資産運用収入(受取利息収入6662万円増)、資産売却収入(有価証券の期限前償還29億円増)、前受金収入(平成19年度新入生納付金8368万円増)によるものです。

主な減少は、資金収入調整勘定の期末未収入金が1億7224万円増加したことによるものです。

【支出の部】

(単位:円)

科 目	決 算	予 算 - 決 算
人 件 費 支 出	3,027,319,366	85,430,634
教 育 研 究 経 費 支 出	893,114,578	125,538,422
管 理 経 費 支 出	443,552,808	10,467,192
施 設 関 係 支 出	2,140,864,574	70,605,426
設 備 関 係 支 出	888,483,294	17,919,706
資 産 運 用 支 出	4,699,670,000	2,799,670,000
そ の 他 の 支 出	238,207,670	10,117,292
予 備 費	0	50,000,000
資 金 支 出 調 整 勘 定	207,077,579	198,933,973
計	12,124,134,711	2,250,891,939
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,654,107,018	687,532,126
支 出 合 計	14,778,241,729	2,938,424,065

資金支出合計（次年度繰越支払資金を除く）は、予算に比べ 22 億 5089 万円増加し 121 億 2413 万円となりました。主な要因は、資産運用支出(有価証券の期限前償還に伴う再運用 28 億円)が増加した一方、人件費支出が予算に比べ 8543 万円、教育研究経費支出及び管理経費支出が予算に比べ 1 億 3600 万円、施設設備関係支出が予算に比べ 8852 万円減少し、資金支出調整勘定の期末未払金が 1 億 9893 万円増加したことによるものです。

この結果、次年度に繰越される支払資金は、予算に比べ 6 億 8753 万円増加し 26 億 5410 万円となりました。

平成 18 年度の主な学生支援等事業費及び施設設備整備事業費は次のとおりです。

【学生支援等事業費】

就職対策講座等支援事業費	7,590,000 円
教育懇談会・ホームカミングデー事業費	3,371,000 円
マナー教育・情報保障制度充実事業費	2,086,000 円
海外語学研修事業費	3,768,000 円
給付奨学金・貸与奨学金事業費	99,205,000 円
クラブ活動・課外活動支援事業費	3,757,000 円
計	119,777,000 円

【施設設備整備事業費】

平成 19 年度 4 月開設 看護リハビリテーション学部関連

看護リハビリテーション学部棟建築	1,684,415,000 円
動物飼育実験室新設	45,150,000 円
看護学科、理学療法学科設備(備品・図書他)	793,066,000 円
計	2,522,631,000 円

その他の整備事業費

大学

2号館 エレベーター新設・サッシュ改修	78,368,000 円
第4学生会館 衛生設備改修	37,800,000 円
8号館 811 教室改修	44,378,000 円
図書館 照明設備更新他	21,750,000 円
教室 AV 設備更新	36,301,000 円
PC教室・CALL 教室コンピューター設備リース	26,779,000 円

中高校

中学棟 サッシュ改修・屋上防水工事	61,845,000 円
-------------------	--------------

計

2,829,852,000 円

(2)消費収支計算書

「消費収支計算書」は、学校法人の当該会計年度における消費収支の内容及び均衡の状況を明らかにするものです。

【消費収入】

(単位:円)

科 目	決 算	予 算 - 決 算
学生生徒等納付金	4,104,118,100	9,997,900
手 数 料	90,701,550	5,463,450
寄 付 金	44,958,017	41,983
補 助 金	515,919,136	41,779,136
資 産 運 用 収 入	476,335,170	68,175,170
資 産 売 却 差 額	1,086,230	1,086,230
事 業 収 入	32,920,000	1,620,000
雑 収 入	188,237,518	25,971,518
帰属収入合計	5,454,275,721	123,128,721
基本金組入額合計	1,823,377,842	447,523,158
消費収入合計	3,630,897,879	570,651,879

学生生徒等納付金

予算比 999 万円減の 41 億 411 万円となりました。納付金の内訳は、授業料 37 億 5350 万円、入学金 3 億 5061 万円の合計で、期中の学生・生徒数は 4083 名(平成 18 年 5 月 1 日現在)です。

手数料

予算比 546 万円減の 9070 万円となりました。手数料の主なものは入学検定料 8469 万円です。

寄付金

予算比 4 万円減の 4495 万円となりました。

主な寄付金は中高校への教育環境整備資金として 3720 万円、甲南女子学園教育振興基金への教育環境整備資金及び教育研究推進資金として 272 万円



の寄付を受け入れました。

#### 補助金

予算比 4177 万円増の 5 億 1591 万円となりました。(主な補助金は私立大学等経常費補助金(私立大学教育研究高度化推進特別補助を含む) 2 億 4176 万円、兵庫県私立学校経常費補助金 2 億 6678 万円です。

#### 資産運用収入

予算比 6817 万円増の 4 億 7633 万円となりました。各種積立金、運転資金等の受取利息 4 億 7368 万円及び施設設備利用料 265 万円です。

#### 資産売却差額

スクールバスの売却益 108 万円です。

#### 事業収入

主なものは、大学の学生寮収入 3165 万円及び公開講座等収入 127 万円です。

#### 雑収入

主なものは、退職金財団交付金収入 1 億 5929 万円及びその他の雑収入 1015 万円です。

この結果、帰属収入合計は予算比 1 億 2312 万円増の 54 億 5427 万円となりました。

### 【消費支出】

(単位:円)

科 目	決 算	予 算 - 決 算
人 件 費	2,991,408,253	78,384,747
教 育 研 究 経 費	1,578,878,236	203,649,764
管 理 経 費	502,416,019	23,241,981
資 産 処 分 差 額	108,454,162	27,309,162
徴収不能引当金繰入額等	5,950,500	5,950,500
予 備 費	0	50,000,000
消費支出合計	5,187,107,170	322,016,830

#### 人件費

本務教職員、兼務教職員、役員の総額で 29 億 9140 万円(予算執行率 97.4%)となりました。帰属収入に占める人件費の割合は 54.8%です。

#### 教育研究経費

減価償却費 6 億 8576 万円を含め 15 億 7887 万円(予算執行率 88.6%)となりました。帰属収入に占める教育研究経費の割合は 28.9%です。

#### 管理経費

減価償却費 5886 万円を含め 5 億 241 万円(予算執行率 95.6%)となりました。帰属収入に占める管理経費の割合は 9.2%です。

#### 資産処分差額

施設設備の処分による除却損で 1 億 845 万円となりました。主なものは、建物・構築物除却損 4736 万円、機器備品・図書 6058 万円です。

#### 徴収不能引当金繰入額、徴収不能額

当年度の貸与奨学金及び学費の回収不能額で 595 万円となりました。

この結果、消費支出合計は 51 億 8710 万円(予算執行率 94.2%)となりました。

当年度消費支出超過額 (消費収入合計 消費支出合計) (単位：円)	1,556,209,291	前年度繰越 消費収入超過額	3,877,711,172
		翌年度繰越 消費収入超過額	2,321,501,881

当期の基本金組入は、施設設備投資による第1号基本金へ25億2337万円、第2号基本金については、中高校の校舎改築資金として2億円を組み入れ、看護リハビリテーション学部棟建築のため、大学の校舎改築資金残高9億円を取り崩す(第1号基本金へ振替)ことにより、合計18億2337万円を組み入れました。その結果、帰属収入合計から基本金組入額合計を控除した消費収入合計は36億3089万円となり、消費収入合計から消費支出合計を差し引いた額15億5620万円の消費支出超過となりました。前年度からの繰越消費収入超過額が38億7771万円であるため、翌年度に繰越される消費収入超過額は23億2150万円となりました。

### (3)貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成18年度末	18年度末 - 17年度末
固 定 資 産	39,503,239,566	2,392,642,186
有 形 固 定 資 産	22,655,974,946	2,178,935,804
土地・建物・構築物	18,505,718,594	1,541,771,100
機器備品・図書・車輛	4,150,256,352	637,164,704
その他の固定資産	16,847,264,620	213,706,382
積立金・有価証券	16,758,707,000	199,670,000
そ の 他	88,557,620	14,036,382
流 動 資 産	2,848,419,113	1,835,634,419
現 金 預 金	2,654,107,018	1,891,359,492
そ の 他	194,312,095	55,725,073
資 産 合 計	42,351,658,679	557,007,767

固定負債	1,577,859,537	35,911,113
退職給与引当金	1,577,859,537	35,911,113
流動負債	1,258,924,707	325,750,329
前 受 金	932,590,000	216,020,000
そ の 他	326,334,707	109,730,329
負 債 合 計	2,836,784,244	289,839,216

科 目	平成18年度末	18年度末 - 17年度末
基 本 金	37,193,372,554	1,823,377,842
消 費 収 支 差 額	2,321,501,881	1,556,209,291
負債、基本金、収支差額合計	42,351,658,679	557,007,767

基本金の内訳 (単位：円)

第1号基本金	33,483,372,554	第2号基本金	2,000,000,000
第3号基本金	1,210,000,000	第4号基本金	500,000,000

正味財産(基本金 + 消費収支差額)	39,514,874,435 円
--------------------	------------------

平成18年度末の資産の総額は、前年度より5億5700万円(1.3%)増加し、423億5165万円となりました。固定資産は、建物・機器備品等が前年度より23億9264万円(6.4%)増加し395億323万円となりました。流動資産は、前年度より18億3563万円(39.2%)減少し28億4841万円となりました。そのうち現金・預金は前年度より18億9135万円減少し26億5410万円となりました。資産の構成比率は、固定資産93.3%、流動資産6.7%です。

負債の総額は、前年度より2億8983万円(11.4%)増加し28億3678万円となりました。前受金の増加が主な要因です。

総資金(負債+基本金+消費収支差額)に占める固定負債は3.7%、流動負債は3.0%です。

当期の基本金組入額が18億2337万円となったことにより、基本金の総額は371億9337万円となりました。その結果、総資産から総負債を差し引いた正味財産は、前年度より2億6716万円(0.7%)増加し395億1487万円となりました。

以上